

第164回国際研修「効果的な非行少年の処遇，更生及び社会復帰」

1 日程及び参加者

- 平成28年8月17日（水）から同年9月23日（金）まで
- 海外参加者19か国24名
- 国内参加者7名

2 セミナー概要

現在，多くの国において，少年司法に係る制度や法律が存在し，教育的・福祉的な対応を採ることを目的として，刑事司法手続の全ての過程において少年を成人から手続的に分離し，少年に対して相応の措置を講じるとともに特別な処遇を行っている。このような少年に対する司法手続や処遇を行うのは，少年が精神的・社会的に未熟であり，ストレスやトラウマの影響を受けやすいという点で脆弱であると同時に，立ち直りの可能性に満ちていることを踏まえたものである。適正な司法手続の下，教育・福祉的観点をも重視した施設内・社会内処遇を行うことにより，吸収力の高い少年時期を最大限に活用し，少年の福祉及び再犯防止を図ることが重要である。

そこで，本研修においては，少年司法に係る手続及び少年に対する施設内・社会内処遇における参加者の知識・理解を深め，自国においてその法制や文化，社会制度と合致した少年に対する効果的な施設内処遇及び社会内処遇を実施するための司法手続の具体的運用につなげることを目的とする。

3 客員専門家等

本研修においては，アジ研教官による講義のほか，以下の客員専門家・外部講師による講義を行う。（敬称略）

【客員専門家】

- ケリー・ベイカー 英国ロンドンサウスバンク大学 上席講師
- デイヴィット・プレスコット ベケットファイミーサービス サービス向上部長
- クレメント・オケチ ケニア保護局 局長補佐

【外部講師】（講義順）

- 川出 敏裕 東京大学教授
- 川本 清巖 東京家庭裁判所判事
- 小野理恵子 東京家庭裁判所調査官
- 安永 智美 北九州少年サポートセンター
- 相澤 仁 大分大学福祉健康科学部
- 坪井 節子 社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長

以 上